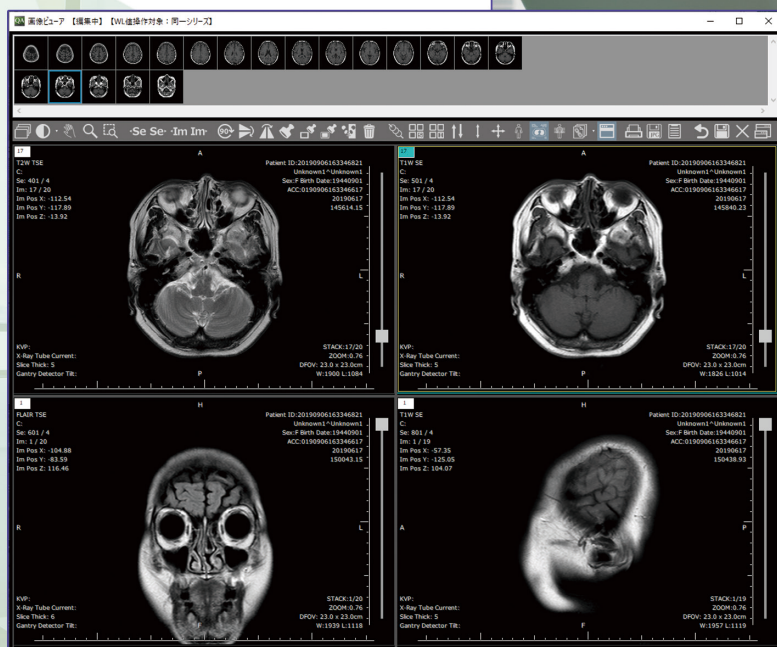
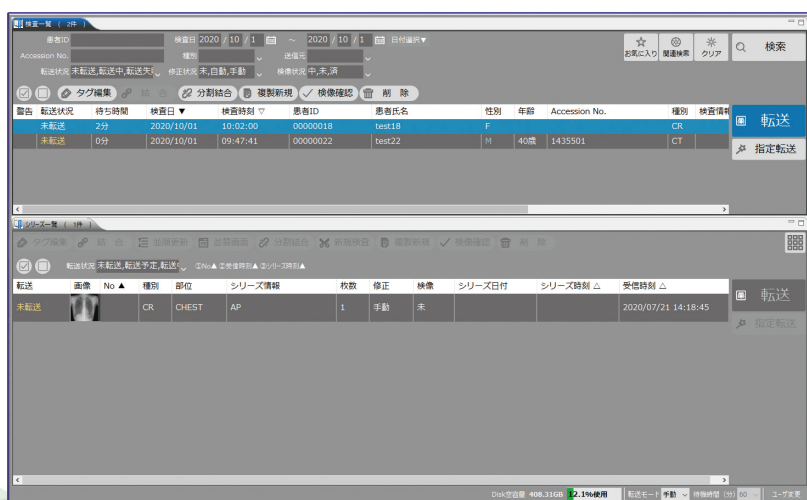


Image Quality Assurance System

iRad[®]-QA

モダリティの高性能化や院内システム環境の変化に伴い、画像運用も年々複雑化しております。検査システムについても、画像の確認やタグ情報の修正だけでなく、他システムとの連携等による、今まで以上の役割が求められています。

iRad[®]-QAは、長年培ってきた実績をもとに、これまでの機能を継承しつつ、放射線科をトータルでサポートするインフォコムならではの強みを最大限に生かした機能を実装し、システム単体では得る事の出来ない新たなメリットを提供いたします。



検像機能

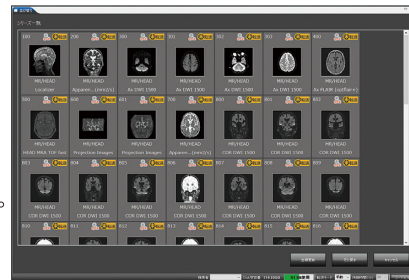
DICOMタグ編集

- 患者属性や検査情報の修正が手動、または自動で可能です。
- 手動の場合は直接入力またはプルダウンより選択可能です。また、あらかじめ条件設定をしておくことで、自動修正も可能です。

画像確認/修正

- 画像ビューアにて画像を確認し、修正することが可能です。
- Windows Width/Levelの値の変更や、CR・MG画像に関してはスタンプを追加、フリーコメントの入力や画像の回転・反転が可能です。
- 過去画像をPACS上に自動表示することが可能になりました。
- CT、MRI画像等のスライスラインでの同期スタック表示が可能になりました。
- 同一シリーズ内の全画像に対するスタンプ保存が可能になりました。

新機能



並び順修正・削除

- 検査単位/シリーズ単位の分割や結合のほかに、シリーズ・画像の並び替えが可能です。
- シリーズ・スタディの複製も可能なため、元画像を残した状態での修正が可能です。
- あらかじめパターンが決まっている修正に関しては、条件を設定しておくことで自動での修正も可能です。

新機能

- 専用ウィンドウでのシリーズ並び替えにより、操作性が向上しました。

RISとの連携 ※弊社RISとの連携になります。

- DICOM MWM連携、オーダ情報表示が可能です。
- 検像状況をRIS側に通知したり、検像者（画像確定者）をRIS側で管理し、結果を統計出力してデータ活用していただくことも可能です。

新機能

- 未転送防止やオーダ情報不一致の防止など、RISの情報を活用して確実な検像業務をサポートします。
- RISより取得したオーダ情報（依頼科、部位情報など）を検査リストに表示可能になりました。

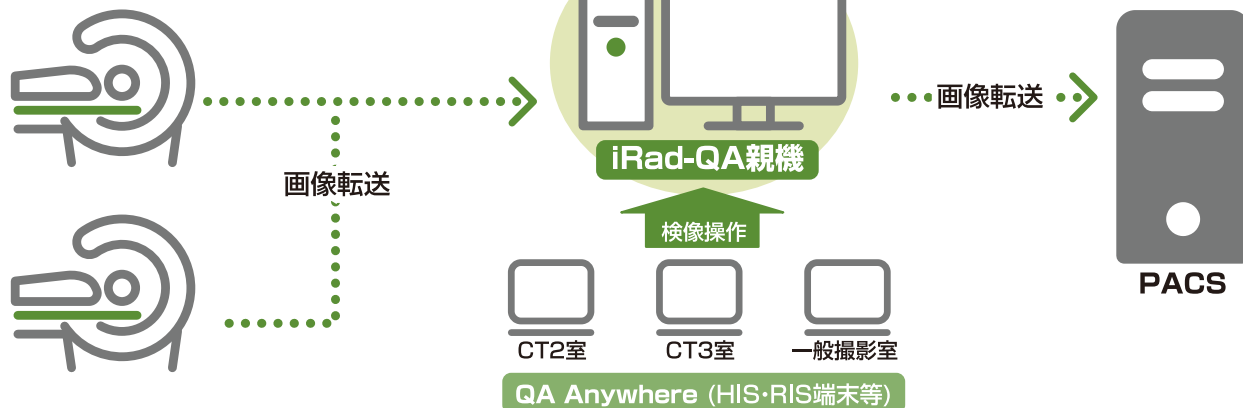
QA Anywhere (オプション)

- Anywhereソフトウェア搭載の端末から操作場所を選ばず、どこからでも検像業務を行うことが可能です。

新機能

- 全検像端末の検査を横断的に一覧表示することが可能になりました。
- 親検像端末の選択がタブで簡単切替することが可能になりました。

Anywhereソフトウェア連携イメージ



動作環境

弊社推奨スペック

◆スタンドアロン/Anywhereサーバ

- ハードウェア
 - CPU: Intel Core i5(3.20GHz)以上
 - メモリ: (32bit)4GB / (64bit)8GB以上
 - HDD: 500GB×2 (RAID1)
 - 通信機能: GigabitEthernet推奨
- OS: Windows 10 Pro (日本語 32bit, 64bit)

◆Anywhereクライアント

- ハードウェア
 - CPU: Intel Core2Duo(2.0GHz)以上
 - メモリ: (32bit)2GB / (64bit)4GB以上
 - HDD: 80GB以上
 - 通信機能: GigabitEthernet推奨
- OS: Windows 7 Pro (日本語 32bit, 64bit) 以上

開発・販売:



インフォコム株式会社
ヘルスケアソリューション事業本部

【本社】

〒107-0052
東京都港区赤坂9-7-2 ミッドタウン・イースト10階
電話 03-6866-3790 FAX 03-6866-3960

【関西事業所】

〒541-0056
大阪府大阪市中央区久太郎町1-6-29 JRE堺筋本町スクエア
電話 06-4705-3030 FAX 06-4705-3366

【福岡オフィス】

〒812-0016
福岡県福岡市博多区博多駅南2-1-9 博多筑紫通りセンタービル8F
電話 092-433-3721 FAX 092-433-3422

E-mail: iRad-sales@infocom.co.jp
URL: <https://service.infocom.co.jp/healthcare/irad>